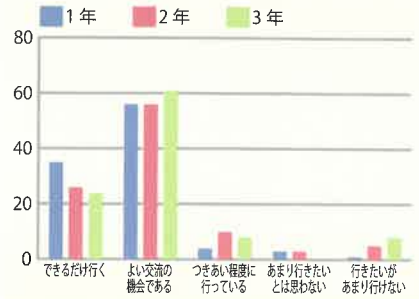


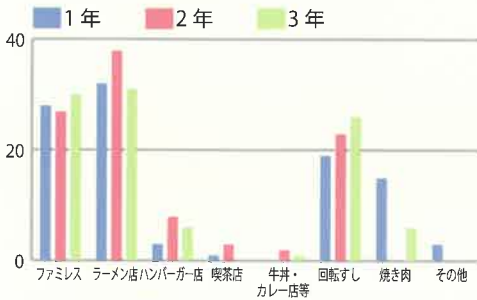


友人や部活仲間と行くのは
そう頻繁ではないようです。
経済的にも時間的にも大変で
す。行くのはやはりラーメン
店・ファミレスが多く、金額
的にはやはり千円以内とい
うのは相場でしょうか。多く
の子供たちが楽しんで行っ
ては私たちが知らないよう
な穴場的なラーメン店も記
入されています。

Q5 友人等と行くことについてどう思いますか？



Q7 どこに行くことが多いですか？



成績が上がったら
行けるのかな？

Q6 どのくらいの回数行きますか？

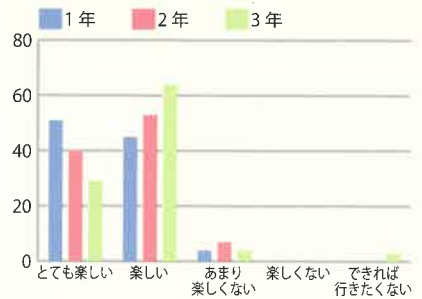


家族(親や兄弟)での外食
について
(数字は%)



家族で行く場合は何か特別な時なのでしょう。やはり家族のコミュニケーションの一つですね。年頃になっても家族一緒に行くのは楽しいものです。家族で行くには回転すしも上位に入りました。焼き肉もみんなで食べれば、楽しいですね。あまり深刻な話ではないのかもしれませんが、みなさん楽しんでいきますね。こちらもたくさんのお店が記入されていました。

Q8 家族との外食をどう思いますか？



社会科 山内 誠

私が高校生の時は、県立博物館の隣の「まなべこ」が市立図書館であって、いつもすぐに席が埋まってしまっていた。だから補習の後とはとにかく急いで行く。でもできるやつは学校の図書館で勉強する。そこは天井が高くて、少々湿っぽい。彼らは薄暗い中、自分の世界に籠もって勉強するのだ。間違いなく東大を目指している。

ラー油を三滴垂らすとすぐうまいんだと誰かが言うけど、みんなだまねをする。くだらない話を言っっては、笑い声が店内に響く。みんなでわいわい食べるラーメンは、この上なくうまかった。

その後図書館でしっかりと勉強したかは覚えていないが、我々の大切な時間があの店にあったことは確かだ。あれから数十年、市立図書館で勉強した連中は東大こそ出でてはいるが、今では世界で活躍している者もいる。時折、何もなくなつたあの店の前を通ると、みんなの笑い声とラーメンをすすむ姿を思い浮かべる。誰かが言う。うーあづい。

そんなやつらをよそ目に、我々は明るい市立図書館を目指す。どう見ても勉強ができるメンバーでない。まずは席を確保し新聞を広げる。しばらくすると誰かが言う。さーて昼飯を食いに行くべ。迷わずみんなではない近くの幸楽苑に向かう。今日も挑戦だ。いつものようにみんな一斉に注文する。味噌ラーメン、タンメン、チャーシュー麺、十人の声が重なる。よし、よくやつたと、思いきや、おばさんは難なく繰り返す。味噌ラーメン三つ、タンメン二つ。あれ。熱々のラーメンを湯気上げながら一気に食べ始める。味噌バターに

